

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

### 事業名 **新**ぎふ花と緑の振興促進事業費補助金（R4分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111（内2866）

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

#### 1 事業費 8,000千円（現計予算額：0千円）

##### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 予算額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
決定額	18,415	18,415	0	0	0	0	0	0	0

#### 2 要求内容

##### （1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・令和2年度に国際園芸アカデミー有識者会議から、花と緑の産業を活性化させるために業界の壁を越えて産学金官が連携する「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」の設置について提言を受けた。
- ・令和3年度に、花きの利活用の促進と、消費者ニーズを捉えた花き商品の開発等を図るため、ぎふ花と緑の振興コンソーシアムを設立した。
- ・花きは産地による差別化が図りにくいため、コンソーシアム会員が連携した「ぎふオンリーワン」の商品づくりを進め、安定した花の需要を拡大する必要がある。

##### （2）事業内容

- ・ワーキンググループ実証事業

生産者等がワーキンググループを組み、課題解決に向けた研究・実証事業に要する経費や成果物の企画や商品PR費などの活動支援への助成

##### （3）県負担・補助率の考え方

花き業界全体の活性化と県の花き生産の振興に取り組むために設立しするワーキンググループ活動に対し、県が負担することが妥当である。

#### (4) 類似事業の有無

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム

岐阜県 IoT コンソーシアム

次世代エネルギー産業創出コンソーシアム

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,000	ワーキンググループ活動費補助金
合計	8,000	

#### 決定額の考え方

ぎふ花と緑の振興促進推進事業費の事業内容を本事業で実施することとし、補助率を 2/3 としして所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 県立国際園芸アカデミー有識者会議報告書 (令和3年度)
- ・ 清流の国ぎふ花き振興計画 (令和3年度～7年度)

#### (2) 国・他県の状況

無

#### (3) 後年度の財政負担

地方創生推進交付金を活用予定

#### (4) 事業主体及びその妥当性

県内生産者等が異業種団体と連携し、花と緑の振興促進する取組みであり、県が負担することが妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふ花と緑の振興促進事業費補助金
補助事業者（団体）	花と緑の振興促進のため、県内生産者等が異業種と連携し2者以上でワーキンググループを立上げた組織 (理由) 県花き振興の加速化を図る
補助事業の概要	(目的) 成功事例（モデル事業）を積み上げ、花き産業への横展開を図ることで、安定した花き需要の創出を図る。 (内容) 花と緑の振興促進のため、2者以上でワーキンググループを立上げ、異業種が連携して取組む商品開発等に対し、段階的（設立・実証・事業化）に支援。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) ワーキンググループ実証事業経費：定率(1/2以内) (理由) 意欲の高い生産者等により共同活動を実施し、実用化に向けた取組が可能になるため。
補助効果	県産花きの需要拡大
終期の設定	令和7年度 (理由) 花きの新たな需要開拓のために異業種等との連携した取組が必要。（「清流の国ぎふ花き振興計画（計画期間：R3～R7）」で異業種連携の取組を明記）

(事業目標)

・県内の花き生産者の需要拡大に向け、生産者等が異業種と連携し実施事例を増やす。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 ( )	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7年度)	
					達成率	
① コンソーシアムによる連携開発事例				4事例	20事例	

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	-千円	-千円	-千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価)	-
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)</li> </ul>	
(評価)	-
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価)	-

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>県花き振興に向けた取組内容を、成果発表会を含めどのように横展開し、関心を高めるか。</li> </ul>
---

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>業界の壁を越えた異業種等からのアイデアを、積極的に取り入れ、需要開拓を図る。</li> </ul>
--